

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2395300011
事業所名	グループホームほほえみ扶桑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域や近所との付き合いを大切に、桜祭りや納涼祭など地域行事には積極的に参加している。保育園の運動会や生活発表会への招待も毎年有り楽しんで参加をしたり、中学生のボランティアも積極的に受け入れ交流を深めている。買い物や散歩などで行き交う人と挨拶や言葉を交わし、日常的な交流をしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回の運営推進会議には、入居者や家族、協力医、民生委員や民生委員のOB、役場職員など多くの参加者を得て開催している。事業所の定例の報告の他に、季節に関わる感染症や急変時対応としてAEDの扱い方などの勉強会を実施している。各専門職からのアドバイスや参加者の意見交換などが活発に行われ、勉強会は好評を得ている。意見や要望は職員で検討しサービスに反映させるようにしている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 更新時の申請手続きの他に、事業所の報告や空き情報等の情報交換、困難事例相談などを積極的に行い、役場担当者との協力関係は築かれている。役場主催の研修会への参加や、の運営推進会議に役場の職員に講師を依頼する事もある。市の職員が異動の際、明確な引き継ぎがされているので、連携は確保されている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日常の会話やケアの中で把握している。家族からは、訪問時や運営推進会議、家族会を開催した時に意見や要望を聞く様に努めている。入居者の担当職員から手書きのお便りを毎月送ったり、電話で連絡をとり意見や要望を聞く様にしている。意見や要望は職員で検討し運営に反映させるようにしている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○			